

講義コード	11C0102600	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	洪沢 妃生子	開講期	第2期
科目名	日本語6					洪沢 妃生子		第2期	
履修前条件						備考			
授業の目的	大学での学習活動に不可欠な日本語スタディ・スキルのなかでもより高度な技能の養成を目指す。文章と口頭による表現力と読解力とを身につけることがこの科目のねらいである。実践的な文章から論理的な文章に至る、より高度な文章表現能力・プレゼンテーション能力を養い、説得力ある表現力の向上を目指す。学生による活動を中心に進める。								
到達目標	テーマについて文献検索による情報収集、提示資料の作成を行うことができる。また、自分の伝えたいことを自分の言葉で聞き手に効果的に伝え、それを「自己評価」する能力を高めることができる。レポートの構成、形式に関する知識を持ち、それを意識してレポートを作成する能力を高めることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、15時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、予習・復習を行うこと。授業中に指示した課題を行い、提出すること。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション（前期の復習）Ⅰ論の方向を示す表現・事実（データ）と筆者の考え 【第2回】 Ⅱ文末表現① Ⅲ重要語句、共起する語 【第3回】 小テストとフィードバック Ⅳ日本語による時事情報の収集① 【第4回】 Ⅰ論の展開 Ⅱ文末表現② 【第5回】 Ⅱ文末表現③ Ⅲ未知語処理 【第6回】 小テストとフィードバック Ⅳ日本語による時事情報の収集② 【第7回】 Ⅰ引用 Ⅱ接続表現と予測① 【第8回】 Ⅱ接続表現と予測② Ⅲ共起する語、重要語句 【第9回】 小テストとフィードバック Ⅳ日本語による時事情報の収集③ 【第10回】 V映像による日本事情 情報交換と視聴 【第11回】 V映像による日本事情 内容及び表現理解 【第12回】 V発表準備 リハーサル 【第13回】 V発表 振り返りと講評 【第14回】 後期まとめテスト 【第15回】 まとめテストのフィードバック 振り返り 質疑応答								
成績評価の方法	後期まとめテスト40%、小テスト30%、課題10%、授業への取り組み姿勢20%で評価する。								
フィードバックの内容	課題に対する講評を翌週授業内冒頭にて行う。また、提出された課題を添削し、授業期間内に返却する。								
教科書	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』 アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2009年、その他教材は適宜プリントを配布する								
指定図書									
参考書	『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』 アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2011年、適宜紹介する								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。								
その他									